

## 主催：日本FP学会 第12回「日本FP学会賞 受賞論文」発表！！

優秀論文賞：石島 博氏、数見 拓朗氏

人々の心理が株価を動かす ～センチメント分析のパーソナルファイナンスへの応用～

個人の資産設計や資産管理等ファイナンシャル・プランニングの理論的基盤となるパーソナルファイナンスの学問的体系の確立を目指している日本FP学会(会長：吉野 直行)は、2017年9月16日、慶應義塾大学 日吉キャンパスにて、栄えある第12回「日本FP学会賞」(共催：日本FP協会)を発表、受賞者を表彰いたしました。

今回、以下の論文が選ばれました。

### ■優秀論文賞

石島 博氏 (いしじま ひろし/中央大学大学院)

数見 拓朗氏 (かずみ たくろう/サイバーエージェント)

論文名：人々の心理が株価を動かす ～センチメント分析のパーソナルファイナンスへの応用～

### ■日本FP協会奨励賞

渡邊 万里子氏 (わたなべ まりこ/アムンディ・ジャパン (株))

論文名：若い世代における金融とキャリアに対する関心の育成

### ■日本FP協会奨励賞

鴻巣 信子氏 (こうのす のぶこ)

論文名：親子二世帯同居における親子間の経済交換～FPの適切な関与のタイミングについて～

「日本FP学会賞」は、パーソナルファイナンスに関する分野で独創的で優れた研究を表彰し、研究者・実務家・大学生への支援を通じて、当該研究の振興に資するとともに、将来に向けたパーソナルファイナンス研究の担い手の育成を目的とし、今回で12回目となりました。

今回も応募の中から厳正な審査が行われ、優秀論文賞が1点、日本FP協会奨励賞が2点となりました。

表彰式では、吉野 直行日本FP学会会長によって各賞受賞者への表彰状、研究奨励金の目録の授与が行われ、受賞者の皆様には会場からの暖かい拍手が送られました。

また、吉野 直行会長が各受賞論文の祝辞を述べ、伊藤 宏一日本FP学会理事が講評と次回への期待を込めたコメントで締めくくりました。

今回の発表に係る、受賞論文要旨及び第13回「日本FP学会賞」の概要は次頁以降をご覧ください。

日本FP学会賞は、日本FP学会が主催し、日本FP協会は共催団体となっています。パーソナルファイナンスに関する8分野(ライフプラン、金融資産運用設計、リスクマネジメント、不動産、税務、法律、金融経済教育、その他)について、独創的で優れた研究を表彰するもので、「最優秀論文賞」、「優秀論文賞」のほか、研究者を奨励する「日本FP学会奨励賞」、実務家を奨励する「日本FP協会奨励賞」、大学生を奨励する「学生奨励賞」を設けています。

※日本FP学会は、2000年3月、グローバル化のもとにおけるパーソナルファイナンスの研究及びその教育・普及によって、わが国の金融システムの安定・発展を図り、個人の資産管理に関する教育及び研究を行う人材の育成を目的として設立されました。日本FP学会は、研究者と実務家との相互交流による実社会に対応した研究の水準アップにより、広い意味での日本人に適した個人の資産設計、資産管理のノウハウが生活科学という学問的裏打ちをされることにより個人投資家・預金者の利益に資することを目指しています。

#### ◆本件取材に関する報道関係の方のお問合せ先

担当	日本FP協会 広報部広報課 金田・田和	TEL 03-5403-9739	FAX 03-5403-9795	E-mail info@jafp.or.jp
----	------------------------	---------------------	---------------------	---------------------------

※ CFP®、CFP®、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®、およびサーティファイド ファイナンシャル プランナー®は、米国外においては Financial Planning Standards Board Ltd.(FPSB)の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。

#### 特定非営利活動法人(NPO 法人) 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

<本部事務所> 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス5F TEL 03-5403-9700(代) FAX 03-5403-9701

<大阪事務所> 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-4-19 マニユライプレイス堂島5F TEL 06-6344-8063 FAX 06-6344-8065

# 受賞論文要旨

## ■優秀論文賞

### 人々の心理が株価を動かす ～センチメント分析のパーソナルファイナンスへの応用～

石島 博 (いしじま ひろし)  
数見 拓朗 (かずみ たくろう)

デフレ脱却へ向けた経済・金融・年金政策や、企業価値向上のための経営戦略が大きな論争となる一方、欧米の政治政策の大転換や日本の近隣諸国を巡る地政学リスクも問題となる中で、人々の心理や経済・経営活動の雰囲気と解される「センチメント」が注目されている。センチメントは、統計データのように定量化されたものではなく、本来、見えざる定性的なものに過ぎない。そこで、本研究では、センチメントを計量化し、「見える化」した新たな独自の指標として定義することを試みる。具体的には、(1) 過去 34 年分、つまり 10,563 日分の日本経済新聞すべての見出しと記事というビッグ・テキスト・データを利用し、(2) 近年進展が目覚ましい自然言語処理分野の成果をパーソナルファイナンスに応用することにより、日本の経済状態を表す指標を構築する。これをセンチメント・インデックスと名付ける。その上で、このインデックスが株価や不動産価格に対して、持続的かつ頑健な予測可能性を有することを実証する。さらに、本研究で得られた成果を、手軽にパーソナルファイナンスへ応用できるように、過去 34 年間分の日次および月次のセンチメント・インデックスを公開するとともに、より精度の高いインデックスへの継続的な研究・開発について言及する。

## ■日本FP協会奨励賞

### 若い世代における金融とキャリアに対する関心の育成

渡邊 万里子 (わたなべ まりこ)

多くの研究は金融リテラシーの重要性を示している。特に金融リテラシーは、将来（進学、キャリア設計やライフプランニングを含む）を見据える能力を向上させる牽引役として認識されている。また、金融教育は、人々が経済的に満足な生活目標を達成するのに重要な役割を担っており、それは社会全体の持続可能性につながる。

近年、特に先進国で少子高齢化問題を抱え、先行き不透明感が高まる状況下で、一定の金融知識を身につけ、適切に経済的な判断をする必要がさらに高まっている。そして、全ての人たち、特に若い人たちの生産性が向上し、経済的に自立できるようになることが重要な課題となっている。

そこで考察すべきは、早期に、例えば高校生時に金融やキャリア設計に対してまずは関心を育成すること、その関心を継続させる包括的な教育プログラムを提供することである。

当研究は金融やキャリア設計への関心を育成するため、シミュレーションプログラムを作成した。さらに使用者のコメントなどを基にシミュレーションプログラムを評価し、今後開発すべき包括的な教育プログラムについて議論する。

## ■日本FP協会奨励賞

### 親子二世帯同居における親子間の経済交換～FPの適切な関与のタイミングについて～

鴻巣 信子 (こうのす のぶこ)

本稿は、都市部在住の親子二世帯住宅に居住する親子を中心に 14 家族の事例について親子二世帯での同居形態を選択した決定要因について調査し、親子間の経済交換について分析した。本稿では、家族がこの居住形態を選択または選択しようとした決定要因について、親子の財産の供出の仕方に着目した経済的アプローチから分析したことが過去の研究と異なる点である。分析の結果、長男と同居の場合と娘と同居の場合とでは、①同居の提案者、②同居の理由、③同居に当たっての金銭の出し方の全てにおいて相違が見られた。これらの相違は二世帯同居が選択される決定要因と関係していることから、ファイナンシャル・プランナーが顧客へのアドバイスを行うに当たり適切に関与していくタイミングとも密接に関与すると考えられた。

## 「第13回 日本FP学会賞」応募要項概要

### ■目的

パーソナルファイナンスに関する分野で独創的で優れた研究を表彰し、研究者・実務家・大学生への支援を通じて、当該研究の振興に資するとともに、将来に向けたパーソナルファイナンス研究の担い手の育成を目的とする。

### ■組織

主催: 日本FP学会 共催: 日本FP協会 後援: 日本経済新聞社、日本経済研究センター

### ■表彰(総額 110 万円)

#### 〈研究者、実務家〉

最優秀論文賞 賞状+研究奨励金50万円

優秀論文賞 賞状+研究奨励金30万円

日本FP学会奨励賞 賞状+研究奨励金10万円

日本FP協会奨励賞 賞状+研究奨励金10万円

#### 〈大学生〉

学生奨励賞 賞状+図書カード10万円

### ■スケジュール

応募締切: 2018年5月7日 結果発表: 2018年9月、日本FP学会大会

### ■選考方法

一次選考: 応募論文について専門分野の委員により独創性、論理の展開力、実務への応用性等に着目しつつ評価し、二次選考に推すべき論文を受賞候補として推薦。

二次選考: 一次選考によって推薦された受賞候補論文について二次選考委員により各賞を決定。

### ■選考委員 ☆は委員長

#### 〈二次選考委員〉

☆吉野直行(日本FP学会会長、慶應義塾大学名誉教授、アジア開発銀行研究所所長)

小島明 (政策研究大学院大学理事・客員教授、日本経済研究センター参与)

伊藤宏一(日本FP協会専務理事、千葉商科大学人間社会学部教授、CFP®)

#### 〈一次選考委員〉

☆吉野直行

他、パーソナルファイナンスに関連する分野の学識経験者

### ■応募資格

パーソナルファイナンスを研究する研究者、実務家、大学生を対象とします。

#### 〈研究者(大学院生を含む)、実務家〉

共同執筆による応募、本学会会員以外の方も応募できます。団体名による応募はできません。

#### 〈大学生(短大生を含む)〉

大学学部生のチーム(数名のグループやゼミのグループ)による団体名の応募のみを対象とします。指導教員の推薦を応募の要件としますが、指導教員が本学会会員でなくても応募できます。

(注) 応募者の年齢制限はありません。

### 日本FP学会賞とは

日本FP学会賞は、日本FP学会が主催し、日本FP協会は共催団体となっています。パーソナルファイナンスに関する8分野(ライフプラン、金融資産運用設計、リスクマネジメント、不動産、税務、法律、金融経済教育、その他)について、独創的で優れた研究を表彰するもので、「最優秀論文賞」、「優秀論文賞」のほか、研究者を奨励する「日本FP学会奨励賞」、実務家を奨励する「日本FP協会奨励賞」、大学生を奨励する「学生奨励賞」を設けています。

### 日本FP学会とは

日本FP学会は、平成12年3月、グローバル化のもとにおけるパーソナルファイナンスの研究及びその教育・普及によって、わが国の金融システムの安定・発展を図り、個人の資産管理に関する教育及び研究を行う人材の育成を目的として設立されました。日本FP学会は、研究者と実務家との相互交流による実社会に対応した研究の水準アップにより、広い意味での日本人に適した個人の資産設計、資産管理のノウハウが生活科学という学問的裏打ちをされることにより個人投資家・預金者の利益に資することを目指しています。